

(4) 農業費

<p>【事業番号】 39</p>	<p>【事業名称】 ハウス栽培における温室効果ガス排出削減事業</p>
<p>【施策体系】 <3></p>	<p>【事業概要】 燃油の使用量を抑え温室効果ガスの排出削減を図るため、燃油暖房設備が設置されている農業用ハウスにヒートポンプを導入する際の費用に対し、助成を行った。</p>
<p>事業費： 3,562 千円</p> <p>財源内訳： 都支出金 3,562 千円</p>	<p><内容> 補助対象者： 認定農業者、認定新規就農者 補助率： 補助対象経費の 9/10 補助上限金額： 9,000 千円 補助対象経費： ヒートポンプ、附帯設備、設置工事費</p> <p><実績> 2 件</p> <p>【事業成果】 ヒートポンプを導入した農業者から、燃費効率が大きく改善され、前年比の半分程度まで灯油の使用量を削減することができたと報告を受けている。 化石燃料の削減や温室効果ガスの排出削減だけではなく、高騰する燃料代の抑制にもつながった。</p>

(5) 商工費

<p>【事業番号】 40</p>	<p>【事業名称】 コロナ禍における中小建設事業者支援事業</p>
<p>【施策体系】 <1-3></p>	<p>【事業概要】 市内小規模事業者の育成・振興を目的とし、日野市内の公共施設に対する小規模修繕等の発注について、日野市商工会に業務委託するもの。</p>
<p>事業費： 19,995 千円</p> <p>財源内訳： 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 19,994 千円 一般財源 1 千円</p>	<p><内容> 金額：事務規則に基づき 1 件 50 万円以内の修繕等 実施業者：日野市商工会公共施設小規模修繕等協力員会に登録したもの 主な修繕内容：公共施設（本庁舎、学校、公園等）のエアコン、トイレ、フェンス等 <執行件数> 204 件 <業種別上位 5 業種> ガラス 28 件（13.7%） 土木 28 件（13.7%） 電気 28 件（13.7%） 造園 26 件（12.7 %） 空調 21 件（10.3%）</p> <p>【事業成果】 当初予算での措置に加え、補正予算で事業費を増額したことで、新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の影響を受けた市内小規模事業者の経営・雇用への支援をより一層充実することができた。</p>
<p>【事業番号】 41</p>	<p>【事業名称】 企業立地支援事業</p>
<p>【施策体系】 <7></p>	<p>【事業概要】 <企業立地奨励金></p>
<p>事業費： 37,276 千円</p> <p>財源内訳： 都支出金 19,876 千円 一般財源 17,400 千円</p>	<p>企業等の立地の促進のために奨励金を交付することで、地域産業の振興及び雇用機会の拡大を図り、活力ある地域経済活動及び市民生活の向上に寄与するため、市内の工業系用途地域に移転した企業及び設備投資を行う企業等を対象に、固定資産税・都市計画税相当額を交付。</p> <p><ものづくり企業等地域共生推進助成金> 市内地域と調和することで持続的な発展を希望するものづくり企業等が行う地域との共生を図る取組に対し助成金を交付することで、市内における事業の継続を支援し、市内ものづくり産業の維持・発展を図る。</p> <p>【事業成果】 <企業立地奨励金> 各奨励金（企業立地、生産設備設置、産業創出施設設置、貸し施設設置、雇用促進）を各 1 社（二つの奨励金を活用している事業者含む）に交付したことで、企業の事業拡大につながり、同事業開始以降、税収の増加や市内雇用者の増加にもつながっている。</p> <p><ものづくり企業等地域共生推進助成金> 地域住民等への配慮を目的に、工場の操業により生じる騒音、悪臭を解消するための工事を 2 社が行ったことで、市内における事業の継続の支援ができたほか、市内ものづくり産業の維持・発展を図ることができた。</p>

<p>【事業番号】 42</p> <p>【施策体系】 <7></p>	<p>【事業名称】 SDG s 連携創出事業</p>
<p>事業費： 1,694 千円</p> <p>財源内訳： 都支出金 847 千円 一般財源 847 千円</p>	<p>【事業概要】 SDG s の達成と経済活動の両立に向けた取り組みを推進することにより持続可能な社会を目指し、新たな価値の創造や有機的なネットワークの形成を促すことで、SDG s の取り組みを原動力とした商工業の持続的な活性化を実現する。「日野市第2期SDG s 未来都市計画（2022～2024）」に記載される実施事項として、「日野市SDG s 推進事業者登録制度」を令和4年度より開始した。 <実施内容> ・日野市SDG s 推進事業者登録制度実施要綱及び日野市SDG s 推進事業者登録制度登録審査会設置要綱の制定（令和4年10月1日制定）</p> <p>【事業成果】 市内のSDG s 推進事業者を登録することで、新たな価値の創造や有機的なネットワークの形成を促進し、商工業の持続的な活性化の実現へ寄与することができた。</p>
<p>【事業番号】 43</p> <p>【施策体系】 <7></p>	<p>【事業名称】 工業振興指針推進事業</p>
<p>事業費： 3,178 千円</p> <p>財源内訳： 都支出金 1,554 千円 前年度繰越金 1,458 千円 一般財源 166 千円</p>	<p>【事業概要】 工業振興の課題と施策の方向性として①連携体制の構築と情報発信の強化、②デジタル化への対応と生産性向上、③人材の確保、④操業環境の維持・拡大と事業継続、⑤事業開発と創業の促進の5つの柱を設定し、市内工業事業者が安心して事業を継続していけるよう支援を行うため、日野市工業振興計画を策定した。</p> <p>【事業成果】 市、国、商工会、市内大企業や中小企業、市内大学、金融機関など、様々なステークホルダーの意見を反映させた計画とすることができ、今後の工業振興推進に向けた道筋を示すことができた。</p>

<p>【事業番号】 44</p> <p>【施策体系】 <9></p>	<p>【事業名称】 ものづくり事業者電気料金支援事業</p>
<p>事業費： 9,676 千円</p> <p>財源内訳： 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 9,674 千円 一般財源 2 千円</p>	<p>【事業概要】 コロナ等の影響により特に原材料やエネルギー価格高騰の影響を受けた市内のものづくり事業者（中小事業者）支援のため、電気料金の一部を補助。また、申請受付時、事業者が抱えるさまざまな課題相談等も受け付け、伴走支援の一助とする。 <内容> 対象者：市内ものづくり事業者 期間：令和4年7月25日～9月14日 支給額：市内事業所において使用した令和4年4月分～6月分の事業に係る電気料金の10%（上限100万円） 支給実績：58件（法人51件、個人7件）</p> <p>【事業成果】 原油価格高騰により、特に電気を多く使用し、影響が顕著であるものづくり企業（中小規模の工業製造事業者）に対し支援を行うことができた。 また、日野市商工会に委託し、商工会の経営指導員等が申請を受け付けたことで、事業者が本補助金以外の支援等を受けることができ、経営改善に向けた動きにつながることができた。</p>
<p>【事業番号】 45</p> <p>【施策体系】 <1-3> <9></p>	<p>【事業名称】 キャッシュレス決済活用物価高騰対策事業</p>
<p>事業費： 822,565 千円</p> <p>財源内訳： 都支出金 231,300 千円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 591,265 千円</p>	<p>【事業概要】 物価高騰及び原材料・光熱費の高騰の影響を受けている市民及び市内事業者を支援するため、キャッシュレス決済サービスによるポイント付与キャンペーンを実施した。 <内容> 実施事業者：P a y P a y（株） （第3弾） 対象店舗：中小事業者のみ 内容：還元率30%、付与上限3,000円/回、15,000円/期間 実施日：令和5年10月1日～10月31日 （第4弾） 対象店舗：大手含む全店舗 内容：還元率30%、付与上限3,000円/回、10,000円/期間 実施日：令和5年11月1日～11月18日</p> <p>【事業成果】 第3、4弾を通して過去の第1弾、第2弾を上回る利用実績となり、市内事業者および市民への支援を行うことができた。 実績：P a y P a y 決済額（P a y P a y で支払いされた金額） 第3弾 560,000,000円（キャンペーン前比590%） 第4弾(11/1-18) 2,211,000,000円（キャンペーン前比2,327%） ・ポイント付与総額：772,335,963円</p>

(6) 土木費

<p>【事業番号】 46</p>	<p>【事業名称】 道路情報WEB公開システム充実事業</p>
<p>【施策体系】 <1-5></p>	<p>【事業概要】 新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式に適応した窓口業務を拡充するため、現在窓口のみで公開している境界確定図について、インターネット公開へ向け電子データの変換を約8,000件実施した。</p>
<p>事業費： 19,624千円</p> <p>財源内訳： 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 19,624千円</p>	<p>【事業成果】 インターネット公開を行うことで来庁することなく道路情報の閲覧が可能となり、利用者の利便性の向上に寄与することができる。また、窓口接触機会の低減による感染症防止対策及び同窓口対応時間の縮減による業務の効率化に寄与することができる。 ※令和5年9月頃の公開を予定</p>
<p>【事業番号】 47</p>	<p>【事業名称】 道路情報WEB公開システム運営事業</p>
<p>【施策体系】 <1-5></p>	<p>【事業概要】 新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式に適応した窓口業務の安定的な運営及び、人との接触機会の削減を目的とし、インターネット公開システムを導入することで、利用者が来庁することなく、道路台帳等の情報を自由に閲覧できるようにした。</p>
<p>事業費： 1,595千円</p> <p>財源内訳： 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,595千円</p>	<p>【事業成果】 来庁することなく道路情報の閲覧が可能となり、利用者の利便性の向上に寄与することができた。 年間7,518件の道路台帳等の閲覧図面の窓口交付が25%削減し、業務の効率化に寄与することができた。また、窓口接触機会が低減したことにより、職員の集団感染を防止することができた。</p>

<p>【事業番号】 48</p>	<p>【事業名称】 建築確認申請等デジタル化事業</p>
<p>【施策体系】 <1-5></p>	<p>【事業概要】 利用者の利便性の向上および来庁者数の削減のため、建築計画概要書等の書類を電子化することで、確認申請や概要書の閲覧等における非接触型手続のための環境整備の準備を行った。</p>
<p>事業費： 51,688 千円</p> <p>財源内訳： 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 51,687 千円 一般財源 1 千円</p>	<p>・建築計画概要書等スキャニング：約 18,000 件 ・マスク処理：約 26,000 件</p> <p>【事業成果】 建築計画概要書等のインターネット公開につなげることができた。 将来的に、利用者は来庁せずに概要書の閲覧を行うことができる予定である。 また、非接触型手続きを可能とすることにより、今後の来庁者の削減が想定され、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に寄与することが期待できる。</p>
<p>【事業番号】 49</p>	<p>【事業名称】 生活道路舗装補修緊急対策工事</p>
<p>【施策体系】 <8></p>	<p>【事業概要】 補修すべき箇所が多いため、令和 4 年度より 2 か年で緊急的に対策することになった。補修箇所の対象は、平成 28 年度以降市民要望がある生活道路で、現場確認し老朽化の激しい箇所を抽出し整備する。</p>
<p>事業費： 26,113 千円</p> <p>財源内訳： 市債 23,000 千円 一般財源 3,113 千円</p>	<p><対象路線> 市道 H32 号線、市道 F28 号線ほか 7 路線、市道 E24 号線ほか 2 路線、市道 A81 号線</p> <p><主な施工内容> 道路打換工 計 3,756 m²</p> <p>【事業成果】 舗装補修したことで、生活道路の安全・安心の歩行空間を整備できた。</p>

<p>【事業番号】 50</p> <p>【施策体系】 <8></p>	<p>【事業名称】 通学路等安全対策事業</p>
<p>事業費： 22,262 千円</p> <p>財源内訳： 市債 20,000 千円 基金繰入金 2,000 千円 一般財源 262 千円</p>	<p>【事業概要】 平成 6 年度に「日野市通学路交通安全プログラム（P D C A）」を策定し、このプログラムに基づき市内 17 小学校を 3 つのグループに分け、各校が 3 年に 1 度の頻度で合同点検を実施している。 平成 24 年度、全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、平成 24 年度に市内各小学校の通学路において関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、その点検結果に基づき、市道の安全対策工事を実施している。 <工事内容> 区画線設置 L=4,137.9m 舗装 A=1,351 m² カラー舗装 A=160 m² 排水施設設置 L=10m 反射鏡設置 N=1 箇所 ポストコーン設置 N=2 箇所 看板設置 N=9 箇所</p> <p>【事業成果】 路面表示、排水施設設置、看板設置等をしたことで、安全・安心な通学路を確保できた。</p>
<p>【事業番号】 51</p> <p>【施策体系】 <8></p>	<p>【事業名称】 道路舗装補修事業</p>
<p>事業費： 147,959 千円</p> <p>財源内訳： 都支出金 146,302 千円 一般財源 1,657 千円</p>	<p>【事業概要】 道路舗装補修計画については、平成 22 年度から 2 か年で幹線市道及び主要生活道路の計 126.6km の路面性状調査を実施し、調査結果を踏まえ各路線の優先順位を定め、平成 24 年度に計画を策定し、平成 25 年度から舗装補修工事を実施している。 <令和 4 年度対象路線> 幹線市道 I-7 号線、幹線市道 I-17 号線、市道 G28 号線、幹線市道 II-7 号線ほか 2 路線 <施工内容> 道路舗装：9,065 m²</p> <p>【事業成果】 道路舗装補修計画に基づき補修をしたことで、安全・安心・快適な道路環境の整備ができた。</p>

<p>【事業番号】 52</p>	<p>【事業名称】 橋梁長寿命化事業</p>
<p>【施策体系】 <8></p>	<p>【事業概要】 平成 26 年度に橋梁長寿命化修繕計画（対象橋梁 48 橋）を策定し、令和 4 年度に対象橋梁及び横断歩道橋 175 橋とし改定した。橋梁及び横断歩道橋長寿命化修繕計画に基づき、橋梁及び横断歩道橋の長寿命化対策として補修設計及び補修工事を実施する。</p>
<p>事業費： 35,988 千円</p> <p>財源内訳： 国庫支出金 2,766 千円 都支出金 31,131 千円 一般財源 2,091 千円</p>	<p><設計及び工事箇所> 補修設計：矢頭橋、豊田跨線人道橋、ふれあい橋 補修工事：湯沢橋歩道部</p> <p>【事業成果】 3 橋の補修設計及び 1 橋の補修工事をしたことで、橋梁の長寿命化対策を図ることができた。</p>
<p>【事業番号】 53</p>	<p>【事業名称】 緑と清流の総合管理事業（ナラ枯れ被害枯損木処理）</p>
<p>【施策体系】 <8></p>	<p>【事業概要】 令和 3 年度に引き続き、ナラ枯れ被害対策として市内全域の公園・緑地等の調査を行い、ナラ枯れ被害による枯損木を伐採することで被害伝染の拡大を抑制し、倒木・落枝などを未然に防いだ。</p>
<p>事業費： 19,991 千円</p> <p>財源内訳： 環境緑化基金繰入金 19,991 千円</p>	<p><伐採本数> ナラ枯れ被害による枯損木 計 71 本</p> <p>【事業成果】 市内全域の公園・緑地等のナラ枯れ被害による枯損木を伐採し、市民の安全・安心な公園利用や暮らしを確保した。また、倒木等による物損事故を予防した。被害伝染の拡大を抑制することで、良好な緑地環境の維持・保全に繋がった。</p>

<p>【事業番号】 54</p> <p>【施策体系】 <9></p>	<p>【事業名称】 公共交通事業者に対する物価高騰等対応支援事業</p>
<p>事業費： 178,855 千円</p> <p>財源内訳： 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 3,830 千円 一般財源 175,025 千円</p>	<p>【事業概要】 新型コロナウイルス感染症の影響により、日野市ミニバス及び丘陵地ワゴンタクシーの燃料費が高騰している状況を踏まえ、運行を維持するため、燃料費高騰分を補助したものの。 ・期間：令和4年度1年間 ・対象路線：ミニバス全7路線、ワゴンタクシー全2路線</p> <p>【事業成果】 ・日野市ミニバス 全7路線について365日運行することができ、市民の身近な足として、のべ約151万5千人(推計)に利用された。 ・丘陵地ワゴンタクシー 全2路線について、平日243日運行することができ、丘陵地の市民の身近な足として、のべ2万3千人に利用された。</p>
<p>【事業番号】 55</p> <p>【施策体系】 <8></p>	<p>【事業名称】 急傾斜地崩壊対策事業</p>
<p>事業費： 3,862 千円</p> <p>財源内訳： 都支出金 3,500 千円 一般財源 362 千円</p>	<p>【事業概要】 東京都との協定に基づき、平山六丁目地区における急傾斜地の崩壊対策を行うもので、年度後期には事業主体である東京都が崩壊防止工事に着手した。市は主に工事の実施に必要な土地所有者からの同意書取得及び地域への事業説明や調整を行った。</p> <p>【事業成果】 工事の実施に必要な土地所有者からの同意がすべて得られたため、東京都により急傾斜地崩壊危険区域が指定され、年度後期には東京都の工事契約が完了し、法枠等の整備を行う急傾斜地崩壊防止工事の施工準備が進められた。</p>

<p>【事業番号】 56</p>	<p>【事業名称】 空き家等対策事業</p>
<p>【施策体系】 <8></p>	<p>【事業概要】 空き家活用の施策を推進するため、「まちと空き家の学校」を開始した。「まちと空き家の学校」では20人の受講生に対し、全6回、計4日の講座及び実習を開催した。講座では活動拠点の作り方や実際の活用提案を実施し、実習では現場見学や空き家のお試し利用を体験した。</p>
<p>事業費： 4,837 千円</p> <p>財源内訳： 国庫支出金 552 千円 都支出金 1,637 千円 一般財源 2,648 千円</p>	<p>【事業成果】 まちと空き家の学校を開始したことで、市の空き家対策などを幅広く周知し、空き家活用に関する学びを深めた。講座終了後も SNS 上で受講生同士がつながり、実際の空き家を使ったイベントを行うなど次の空き家活用につながる場を設けることができた。今後は、市の空き家情報をもとに、現場で実践しながら、蓄積したノウハウを他の活用者と情報交換して、活用事例を積み上げていく。</p>

(7) 消防費

<p>【事業番号】 57</p>	<p>【事業名称】 消防施設整備事業</p>
<p>【施策体系】 <8></p>	<p>【事業概要】</p>
<p>事業費： 68,429 千円</p> <p>財源内訳： 都支出金 29,854 千円 市債 20,200 千円 一般財源 18,375 千円</p>	<p>川崎街道拡幅工事に伴い、工事予定範囲内に位置する日野市消防団第八分団第一部詰所器具置場の移転が必要となることから、日野市立第五幼稚園跡地（三沢たちばな公園南東）の一部に新設工事を実施した。解体工事については、社会情勢の影響による物価高騰をうけ、新設工事の進捗が遅る倒しとなったため、令和5年度へ繰り越し事業を実施中である。</p> <p>【事業成果】</p> <p>日野市消防団第八分団は、落川・三沢・百草地区を所管しており、日野市消防団の中でも災害出動の多い分団である。今後、地域のあらたな防災拠点となり、引き続き所管地区の安全・安心を守ることが期待される。</p>

(8) 教育費

<p>【事業番号】 58</p>	<p>【事業名称】 新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進事業</p>
<p>【施策体系】 <5></p>	<p>【事業概要】 G I G Aスクール構想や少人数学級への移行など、児童生徒にとって適した教育・学習空間の整備に向けて、新しい時代に求められる学校施設のあり方を検討していく。</p>
<p>事業費： 4,840 千円</p> <p>財源内訳： 一般財源 4,840 千円</p>	<p>令和4年度では、学校施設に関する基礎調査を行い、この結果を踏まえ令和6年度末までに市民参画により「新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」を策定の上、今後の学校施設の整備方針として位置づけていく。</p> <p>【事業成果】 「新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」の策定に先立ち、市内の学校施設を取り巻く課題・問題点を実態把握することができた。 特に市内小中学校に在籍する教員へアンケート調査を実施したことにより、普通教室など諸室で求められる学習空間のデザインや機能など、課題や問題点を広く整理することができた。 その他、学区単位の将来人口推計や学校施設におけるバリアフリー調査、通学区域内の分析などにより、学校施設の整備に必要な情報を分析することができた。</p>
<p>【事業番号】 59</p>	<p>【事業名称】 小中学校学習者用端末等運営事業</p>
<p>【施策体系】 <5></p>	<p>【事業概要】 令和3年度よりG I G Aスクール構想で一人一台学習者用端末を活用した取組を行っている。令和4年度は、より一層の学習環境の向上を進めるため、以下の取組みを行った。</p>
<p>事業費： 100,635 千円</p> <p>財源内訳： 都支出金 16,774 千円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 83,701 千円 一般財源 160 千円</p>	<p>①未配布だった小学校1年生用学習者用端末の整備（1,700台） ②小中学校全生徒・児童学習ソフト（協働学習・一斉学習・個別学習）導入 ③I C T機器を活用を目的とした、学校巡回型の支援員の導入 訪問実績：626回（各校月2回程度）</p> <p>【事業成果】 ①市内小中学校の児童・生徒全員に学習者用端末を配置することができた。 ②授業中の活用だけでなく、夏休みなどの長期期間での持ち帰り学習など、児童生徒の学習環境の向上に繋がった。 ③導入した学習ソフトの活用をはじめ教員の授業支援環境の向上に繋がった</p>

<p>【事業番号】 60</p> <p>【施策体系】 <1-2></p>	<p>【事業名称】 新型コロナウイルス感染症対策事業（PCR検査）</p>
<p>事業費： 51 千円</p> <p>財源内訳： 一般財源 51 千円</p>	<p>【事業概要】 新型コロナウイルス感染症の拡大防止と学校運営の両立が求められる状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症拡大の防止、児童生徒等の学びを保障することを目的に、対象者に対しPCR検査を実施できるよう体制整備を行った。 ・対象者：職場体験等の教育活動の参加にあたり訪問先から検査を求められた者、学級閉鎖等を行った同一クラスのうち検査を希望する者等 ・実施期間：令和4年4月から令和5年3月 ・実施方法：対象者に検査キットを配布し、唾液の自己採取によるPCR検査を行う。 ・検査実績：31件</p> <p>【事業成果】 職場体験等の教育活動の参加に当たり、訪問先からの求めに応じてPCR検査を行うことで、感染拡大の防止と教育活動の参加を担保することができた。また、市内の小中学校等において学級閉鎖等を行った場合に対象者にPCR検査を実施した結果、学校内での感染拡大の防止、子ども・保護者等の不安解消や各施設における運営を継続することができた。</p>

<p>【事業番号】 61</p> <p>【施策体系】 <1-2></p>	<p>【事業名称】 オンラインによる英語学習推進事業</p>
<p>事業費： 1,188 千円</p> <p>財源内訳： 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,188 千円</p>	<p>【事業概要】 国際社会に対応する教育施策の一環として、児童に外国語や外国の文化に触れる機会を提供するとともに、外国語等によるコミュニケーション能力の向上及び国際理解教育を推進することを目的として、オンライン学習教材「M i m m yアドベンチャー」を導入した。現地のネイティブ・スピーカーがその国や土地の文化・言語・その他国際理解教育を促進する内容をL I V E配信するサービスで、市内公立小学校全17校にて6年生を対象に利用した。</p> <p>【事業成果】 子どもたちの外国語や外国の文化・暮らしへの興味関心を、楽しみながら自然と高めることができた。また、これまで学習してきた英語を実際に使う機会となり、学習意欲が上がった。</p>

<p>【事業番号】 62</p> <p>【施策体系】 <5></p>	<p>【事業名称】</p> <p>プール改革事業</p>
<p>事業費：</p> <p>21,929 千円</p> <p>財源内訳：</p> <p>一般財源</p> <p>21,929 千円</p>	<p>【事業概要】</p> <p>学校プールの課題（天候に左右される学習環境、プール施設の老朽化、プール管理、安全管理に係る教員の負担軽減）に対応し、安心・安全な水泳指導環境の整備、児童生徒の泳力の向上、教員の指導力向上を図るため、以下の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間プール施設の活用：日野第三小学校・日野第六小学校・旭が丘小学校・東光寺小学校・七生緑小学校 ・学校プールの共同利用：夢が丘小学校・日野第三中学校 ・水泳指導のインストラクターの活用：上記小中学校 <p>【事業成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候に左右されず計画通り授業を実施することができ、運動量も十分確保された。 ・民間の屋内プール施設を活用することにより、プール環境管理作業がなくなり、教員の大きな負担軽減となった。 ・水泳インストラクターが的確なアドバイスを行うことで子供たちの泳力を伸ばすことができた。また、子供たちへの支援方法も学ぶことができ、教員の指導力向上を図ることができた。

<p>【事業番号】 63</p> <p>【施策体系】 <1-2> <5></p>	<p>【事業名称】</p> <p>学校体育施設等を拠点としたスポーツを楽しむ子ども・子育て支援事業</p>
<p>事業費：</p> <p>9,284 千円</p> <p>財源内訳：</p> <p>子供・長寿・居場所区市町村包括補助金</p> <p>9,284 千円</p>	<p>【事業概要】</p> <p>学校の体育館等を使い、地域の企業やスポーツ団体の指導者によって、子どもたち一人ひとりが、スポーツに親しむことができる持続可能なスポーツ環境の確保を目的として、下記のとおり事業を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政・地域企業・スポーツチーム・大学・地域団体が参画する「日野市地域スポーツ連携協議会」の発足（令和4月10月） ・日野型地域スポーツ『ひのスポ!』のキックオフイベントの開催。市内から集まった小学校5,6年生と中学生、合わせて50人が参加（令和5年1月） ・卓球アカデミープレイベントの開催（令和5年3月） ・令和5年度に実施予定の『ひのスポ!』の周知を目的として、日野市立平山中学校で『ひのスポ!』卓球プレイベントを開催。卓球部所属生徒（1～2年生）43人が参加した。 <p>【事業成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日野市地域スポーツ連携協議会を発足し、制度や仕組みづくりの場とすることで、ステークホルダーの主体性と連携を前提とした議論を行うことができた。 ・『ひのスポ!』キックオフイベントを実施することで、令和5年度のひのスポ!本格稼働に向けて、周知・啓発することができた。

<p>【事業番号】 64</p> <p>【施策体系】 <9></p>	<p>【事業名称】 学校給食費補助事業</p>
<p>事業費： 25,151 千円</p> <p>財源内訳： 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 25,150 千円 一般財源 1 千円</p>	<p>【事業概要】 学校給食に使用する食材が高騰している社会状況を踏まえ、保護者の負担を増やさずことなく給食の質・量を確保するため、各校の給食会計に対し補助を行った。 ・補助対象期間：令和4年7月から令和5年3月までの9か月間 ・補助率：給食費の4%（補助率の考え方：令和4年4月と前年の令和3年4月の消費者物価指数を比べた際の物価上昇率）</p> <p>【事業成果】 原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰の影響を受けた子育て世帯の負担を増やさずことなく、旬の素材や地元農産物を活用し、物価高騰前と変わらない栄養バランスのとれた給食を安定的に提供できた。</p>

<p>【事業番号】 65</p> <p>【施策体系】 <5></p>	<p>【事業名称】 日野第五小学校トイレ改修事業</p>
<p>事業費： 92,341 千円</p> <p>財源内訳： 国庫支出金 21,367 千円 都支出金 13,843 千円 市債 56,360 千円 一般財源 771 千円</p>	<p>【事業概要】 老朽化した小学校のトイレを全面改修、手洗いの自動水栓、洋式便器（節水型）、ドライ方式（床仕上）、照明（人感センサー式）、配管の取替、男子小便器（人感センサー式）など、衛生的で省エネ（節水・節電）に配慮したトイレを計画的に整備を行った。 〔実施校・施工箇所〕 ＜日野第五小＞ 校舎 24 棟 西系統（1～4 階）のトイレ全面改修工事</p> <p>【事業成果】 全面改修により、衛生的で安全に安心して児童が利用しやすい環境を整備することができた。また、災害発生時の避難所として、避難所環境の向上を図ることが出来た。</p>

<p>【事業番号】 66</p> <p>【施策体系】 <5></p>	<p>【事業名称】 豊田小学校屋内運動場大規模改造事業</p>
<p>事業費： 204,723 千円</p> <p>財源内訳： 国庫支出金 20,363 千円 都支出金 5,811 千円 市債 150,100 千円 一般財源 28,449 千円</p>	<p>【事業概要】 ・豊田小学校の児童数の増加に対応するため、老朽化の進行している体育館について、大規模改造工事を実施した。 <工事概要>屋内運動場（体育館）の大規模改造工事 規模：鉄骨造 地上2階建て 床面積 約938㎡ 概要：床の張替え、外壁改修、照明LED化、体育倉庫及びトイレの増築、屋根断熱改修、エアコン整備、マンホールトイレ設置など</p> <p>【事業成果】 ・大規模改造により、安全に安心して児童・生徒が利用しやすい教育環境を整備することができた。また、災害発生時の避難所として、避難所環境の向上を図ることが出来た。</p>

<p>【事業番号】 67</p> <p>【施策体系】 <5></p>	<p>【事業名称】 平山中学校トイレ改修事業</p>
<p>事業費： 93,714 千円</p> <p>財源内訳： 国庫支出金 22,520 千円 都支出金 12,821 千円 市債 58,240 千円 一般財源 133 千円</p>	<p>【事業概要】 老朽化した中学校のトイレを全面改修するもので、手洗いの自動水栓、洋式便器（節水型）、ドライ方式（床仕上）、照明（人感センサー式）、配管の取替、男子小便器（人感センサー式）など、衛生的で省エネ（節水・節電）に配慮したトイレを計画的に整備を行った。 〔実施校・施工箇所〕 <平山中> 校舎1棟 西系統（1～4階・誰でもトイレ含む）、食堂、体育館トイレの全面改修工事</p> <p>【事業成果】 ・全面改修により、衛生的で安全に安心して生徒が利用しやすい環境を整備することができた。また、災害発生時の避難所として、避難所環境の向上を図ることが出来た。</p>

<p>【事業番号】 68</p> <p>【施策体系】 <1-1></p>	<p>【事業名称】 幼稚園における感染症対策施設整備事業</p>
<p>事業費： 3,493 千円</p> <p>財源内訳： 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 3,493 千円</p>	<p>【事業概要】 新型コロナウイルス感染症対策として、感染症対策のための改修や設備の整備等に対して、市内幼稚園施設（幼稚園型認定こども園含む）への補助を行った。施設のニーズ、必要性を鑑み、改修及び施設の整備等に要する経費の一部について補助を行った。</p> <p>■対象施設：私立幼稚園 10 施設 ■補助基準額：1 施設 1,029 千円（上限） ■予算：4,116 千円 ■実施施設：4 施設 ■決算額：3,493 千円</p> <p>【事業成果】 感染拡大防止や感染対策として自動水栓の設置等を施設の状況に応じて実施し、新型コロナウイルス感染症対策の実施及び感染拡大を防止することで、子どもを安心して育てることができる環境を整備することができた。</p>

<p>【事業番号】 69</p> <p>【施策体系】 <5></p>	<p>【事業名称】 成年記念事業</p>
<p>事業費： 3,277 千円</p> <p>財源内訳： 一般財源 3,277 千円</p>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新成人が大人の社会へ仲間入りすることを自覚するため、式典を実施するもの。 ・令和 4 年 4 月からの民法改正施行に伴い、成年年齢が 18 歳となったが、18 歳の方を対象に式典を実施する場合、大学等の受験シーズンにあたることから多くの出席が見込めないことや、世論調査、各自治体の動向等を踏まえ、以下の形式で事業を行うこととした。 <p>①当該年度に 20 歳になる市内在住者を対象として成人の日に「二十歳のつどい」を開催する。</p> <p>②18 歳になる市内在住者に対して記念品とお祝いの言葉を郵送する。</p> <p><内容①> 日時：令和 5 年 1 月 9 日（午前・午後 2 部制、オンライン視聴併用） 場所：市民会館 参加者数：来場者 1,145 人、オンライン視聴者数延べ 1,610 人</p> <p><内容②> 対象者：5,600 人（令和 4 年度は年度内に 18 歳、19 歳、20 歳になる市内在住者を対象とした。）</p> <p>【事業成果】 新成人及び二十歳を迎えた方々の新たな門出を祝うことができた。</p>

<p>【事業番号】 70</p> <p>【施策体系】 <1-5></p>	<p>【事業名称】 令和3年成人式代替イベント事業</p>
<p>事業費： 1,051 千円</p> <p>財源内訳： 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,051 千円</p>	<p>【事業概要】 新型コロナウイルス感染症の影響により、参集開催できなかった令和3年成人式の代替イベント「ちょっと遅れた令和3年日野市成人式」を実施した。また、軽スポーツゾーン、メモリアルゾーン、軽食ゾーンを設け、出入り自由な場を設けた。</p> <p><内容> 対象：令和3年新成人 日時：令和4年5月28日 場所：南平体育館 参加人数：138人</p> <p>【事業成果】 新たに完成した施設でスポーツレクリエーションやビンゴ等のイベントにより旧交を温めてもらうことができた。参加者からは「普段会えない人と会えてよかった」「成人式が中止となり寂しい思いを引きずっていたが、懐かしい人に会いたいという願いがかなった」などの感謝の気持ちが寄せられ、新成人の思いに応えるとともに、新たな門出をお祝いすることができた。</p>

<p>【事業番号】 71</p> <p>【施策体系】 <1-4></p>	<p>【事業名称】 コロナ禍におけるシニアICT支援事業</p>
<p>事業費： 600 千円</p> <p>財源内訳： 都支出金 400 千円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 200 千円</p>	<p>【事業概要】 ①スマホお助け隊養成講座 デジタル格差解消のための市民ボランティアを養成する事業。 【開催数】5回（ガイダンス2回、ブロンズ・シルバー・ゴールドコース各1回） 【養成講座参加者】延べ58人 ②スマートフォン使い方講座 高齢者に基本操作等を教える講座。 【開催数】10回 【参加者】132人 ③スマホ個別相談会 高齢者のスマートフォンの疑問を解消する「スマホ個別相談会」を実施する。 【開催数】13回 【参加者】162人</p> <p>【事業成果】 ①デジタル格差解消の人材を養成することができた。そのうち約20人がスマホ相談サロン等でデジタル格差解消ボランティアとして活動している。 ②高齢者のデジタル格差解消に貢献することができた。</p>

<p>【事業番号】 72</p> <p>【施策体系】 <2></p>	<p>【事業名称】 第4次図書館基本計画策定事業</p>
<p>事業費： 3,059 千円</p> <p>財源内訳： 一般財源 3,059 千円</p>	<p>【事業概要】 今後の図書館の役割を整理し直し、以下を明確に示すことを目的として第4次図書館基本計画を策定した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの図書館事業を振り返り、総括すること ・市民の意見を図書館活動に活かすこと ・現在の図書館の課題を明らかにし、今後の図書館のあり方を示すこと ・取り組むべき内容と時期を具体的に示すこと <p>策定に向け実施したアンケートでは、図書館の未利用者の意見を多く集めた（107人）。市民ワークショップでの意見とあわせ、ニーズを計画に反映させた。</p> <p>策定委員は、移動図書館「ひまわり号」と地域館の視察を行い、図書館の状況や課題、雰囲気を理解した上で、会議に臨み、活発な議論が交わすことができた。</p> <p>【事業成果】 「わ」をコンセプトにした「つなぐ「わ」プロジェクト」を基本計画の重点プロジェクトとし、「地域資料の収集・提供・保存」「地域館ごとの取り組みの充実」「図書館におけるDX化の検討」などの重点的に取り組む項目を具体的に示した。これらに取り組むことで、新しい発見や本との出会いの場、本・人・地域をつなげる場、利用しやすく居心地のよい空間として、地域に根ざし、市民の暮らしに寄り添う図書館を実現する。</p>

<p>【事業番号】 73</p> <p>【施策体系】 <2></p>	<p>【事業名称】 歴史的公文書デジタル化事業</p>
<p>事業費： 9,460 千円</p> <p>財源内訳： 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 9,460 千円</p>	<p>【事業概要】 日野市のあゆみを伝える貴重な資料である地域・行政資料を将来に遺し、より多くの方に利用していただくために、デジタル化を行う。また、令和8年度までの5年計画でデジタル化した公文書の中から公開可能なものを順次、図書館ホームページに掲載する。</p> <p>令和4年度は、ふるさと文化財課との共同事業により、歴史的公文書のデジタル化を行い、また、歴史的公文書の紹介・活用のための展示を行った。</p> <p><デジタル化内容> 明治期からの議事録、市制施行関連文書、旧七生村行政文書等約25万枚</p> <p><参考：過去にデジタル化した資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度：昭和期の日野市刊行物 ・令和3年度：平成期前期の市刊行物 <p>【事業成果】 歴史的公文書等をデジタル化することで歴史的に重要な公文書、明治期から昭和期の議事録などの地域・行政資料の保護に寄与することができた。</p> <p>また、デジタルアーカイブ化を進め、公開することにより、これら資料について利用者の利便性を向上させることができた。</p>

<p>【事業番号】 74</p> <p>【施策体系】 <5></p>	<p>【事業名称】 第2次スポーツ推進計画策定事業</p>
<p>事業費： 292 千円</p> <p>財源内訳： 一般財源 292 千円</p>	<p>【事業概要】 年齢や性別、障害の有無などに関わらず、全ての市民が個々の関心・適性等に応じてスポーツ推進に主体的に取り組むことのできる環境の実現に向けた方向性を示すため、「誰でもスポーツに取り組みやすいまち」を基本理念とする第2次日野市スポーツ推進計画を策定した。 策定にあたっては、令和2年度に実施した市民調査の結果や、令和4年3月に公表された国の「第3期スポーツ基本計画」を参考にしたほか、5回にわたり策定委員会を開催し、各委員からいただいた意見も踏まえながら、計画に盛り込む内容の検討を行った。</p> <p>【事業成果】 計画の目標としてスポーツ実施率の向上（成人・週1回で58.4%→70%）や市内体育施設の年間利用者数の増（約95万人→100万人）などを掲げ、日野市を取り巻く現状を踏まえ、スポーツの裾野拡大を通じて実現する明確な目標を定めることができた。 また、基本方針の一つとして新たに「障害者スポーツの普及」を定め、障害の有無に関わらず、身近な場所でさまざまなスポーツに取り組める環境の整備に向けた施策を検討していく旨を計画に明記したことで、今後の障害者スポーツの推進に向けた道筋を示すことができた。</p>